

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月16日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年7月7日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～2 月上旬 2 学期: 2 月上旬～6 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 3 万人
創立年	1905 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため
宿舍費		約 1,300,000 円	
食費		約 500,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		約 100,000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		約 100,000 円	
被服費		約 200,00 円	
医療費		0 円	保険に加入していたため
保険費		約 100,000 円	形態:大学が義務付けている保険のみ
渡航旅費		約 300,000 円	
ビザ申請費		約 100,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		約 400,000 円	旅行費等
合計		2,820,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港 目的地: マンチェスター空港 経由地: ヘルシンキ空港 復路 出発地: マンチェスター空港 目的地: 羽田空港 経由地: ヘルシンキ空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JAL 料金:150,000 円 復路 航空会社:JAL 料金:150,000 円 ∴合計:300,000 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Allen Court) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先の大学から寮に関する案内があり、いくつかの選択肢の中から探しました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
大学から徒歩 5 分で、City Centre にも近く、とても便利でした。予算の問題 等あるとは思いますが、寮はできれば大学に近い場所が良いと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

渡航前にインターネットで現地の治安を確認しました。シェフィールドはイギリス国内でも特に安全な都市の一つとされていますが、万が一に備えて警察の連絡先を覚え、深夜の外出を控えるよう心掛けていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地でのインターネット接続は全く問題ありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金はほぼ使わず、クレジットカードを使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

炊飯器がないため、電子レンジで手軽に調理できるパックご飯を持参すると便利だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120	単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English Language and Culture (News Media)		
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre	
履修期間	秋学期	
単位数	10 credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Nicholas	
授業内容	イギリスにおけるニュースメディアに見られる特徴について	
試験・課題等	毎週の課題、期末のプレゼンテーションとレポート	
感想を自由記入	イギリスのメディアの主に新聞について学びました。どのような種類が存在し、そこにどんな技法が使われているのかを学びました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Understanding University Culture through Language		
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre	
履修期間	秋学期	
単位数	10	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Maria	
授業内容	イギリスの大学の制度やそれぞれに見られる文化について	
試験・課題等	毎週の課題、期末のプレゼンテーションとレポート	
感想を自由記入	先生が優しい方で生徒と先生の双方向のコミュニケーションを取ることができ面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Academic Purposes (Reading and Writing)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Jemima
授業内容	アカデミックライティングについて
試験・課題等	中間、期末レポート
感想を自由記入	ライティングの基本的な書き方について学びます。日本の大学でも学ぶ内容が多かった印象です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English for Academic Purposes (Speaking and Lisitening)	
科目設置学部・研究科	Engsih Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数、対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Nicholas
授業内容	スピーキングをメインに行い、クラスメイトとディスカッション等を行う
試験・課題等	グループディスカッション、個人プレゼンテーション
感想を自由記入	クラスメイトと毎授業ディスカッションを行うので、友達になることができいい機会でした。個人的には、ディスカッション後に個人フィードバックがあると理想的でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English as a Foreign Language (Advanced)	
科目設置学部・研究科	English Teaching Centre
履修期間	秋学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	PURO MARIA
授業内容	イギリスの文化、芸術、建築等について
試験・課題等	各週の課題、中間期末レポート、グループディスカッション
感想を自由記入	イギリスにおける一般知識について学びました。クラスメイトと共にプレゼンテーションを作成したり、グループディスカッションを行ったりして有意義な時間でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Management Themes and Perspectives	
科目設置学部・研究科	Management School
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	週によって変わる
授業内容	マーケティング戦略のフレームワーク等について
試験・課題等	小テスト4回、最終レポート
感想を自由記入	一学期を通じていくつかのテーマごとに構成されていて、ビジネスマネジメントを多角的に捉える内容でした。これまで触れてこなかった分野だったものの、初学者向けの構成だったので、無理なく基礎を学べたと思います。また、セミナーではグループディスカッションを通じて課題を深める時間があり、発表の場が設けられていたことで、英語での表現力も身につける良い経験となりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introductory Finance for Economics	
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Emily
授業内容	財務管理者が行う資金調達や投資の意思決定、およびそれらの意思決定が行われる金融市場の状況について
試験・課題等	期末テスト
感想を自由記入	資金調達や投資に関する意思決定を理論的に深く学べたことに加えて、実際の金融市場の動きともリンクしていたため、現実世界での応用をイメージしやすかったです。特に問題解決に取り組む際、複雑な金融の概念を自分で整理しながら考えを進めていくプロセスが楽しかったです。理論を基にした実践的な学びが多く、非常に充実した時間を過ごせました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Essentials of Marketing	
科目設置学部・研究科	Management School
履修期間	春学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	GUL NASREEN
授業内容	セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングなどのマーケティング戦略の基本に加え、製品やブランド管理、サービスマーケティング、価格設定の手法、プロモーション戦略、流通や物流といった戦略開発の実践的な領域について
試験・課題等	期末レポート
感想を自由記入	実践的な内容が多く、とても充実していました。特に、セグメンテーションやターゲティングなど、戦略の基礎を学ぶことができたのは非常に有意義でした。また、製品やブランド管理、価格設定、プロモーション戦略など、実際のビジネスで直結するテーマについて具体的な事例を交えて学べたので、マーケティングの全体像をより深く理解できました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
マイナビ、M-Career、ワンキャリア、OpenWork
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
就職活動はこれから始める予定で、現時点ではコンサル業界を希望しています
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中の就職活動は確かに難しい部分もあるので、無理せず自分のペースで進めることが大切です。留学に集中するのも良い選択ですし、もし時間や余裕があるなら、少しずつ就職活動を進めるのも良い方法です。自分の状況や留学の目的に合わせて、柔軟に調整しながら進めていくことをおすすめします。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、留学申し込み
留学開始年	1月～3月	明治大学の留学前オリエンテーション等
	4月～7月	航空券の購入、滞在先の確保
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	期末試験
	4月～7月	中間試験、期末試験、留学修了
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私が留学先としてイギリスを選んだ理由は、語学力を確実に伸ばせる環境に身を置きたかったからです。第二言語を学ぶよりも、英語という得意な言語を更に深めたいと考え、英語圏の国に留学することを決めました。既に訪れたことのある北米ではなく、文化的に新しい体験を求めてヨーロッパを選びました。特にイギリスは、語学や学業の水準が高い国であり、挑戦的な環境が自分に合っていると感じました。

シェフィールド大学を選んだのは、事前に読んだ留学体験記で、勉学と生活のバランスをうまく取っている学生が多いと感じたからです。学びながらもイギリスの文化を楽しみたいと考えていた自分にとって、主要な観光地ではないシェフィールドはローカルな文化に触れる良い機会になると確信しました。また、シェフィールドという地名を全く知らなかったことも、先入観なしに新しい経験を楽しめる要素の一つでした。

最後に、寮選びについて触れたいと思います。私は日本人がもう1人と、中国人が3人いるフラットに住んでおり、リビングを彼らと共有していました。しかし、ルールを決めたにもかかわらず、勝手に他人の物を使ったり、リビングを汚したりすることがあり、注意しても改善されないことが多く、かなりストレスでした。さらに、夜遅くまで電話をしたり、ゲームをして騒いだりすることが頻繁にありました。イギリスに来る前は、現地のイギリス人学生とフラットメイトになって仲良くなることを期待して、Allen Courtを選びました。確かに大学に近く、比較的綺麗だったのは良かったのですが、寮生活にはこうしたストレスも伴い、精神的に厳しいことがありました。そのため、寮選びの際はこのようなリスクも考慮して選ぶことをおすすめします。